

【授業科目】在宅看護学実習

Home Care Nursing Practicum

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
春名 誠美、多次 淳一郎、北井 真紀子	3年次後期	必修	2	90	実習	あり	巻末掲載	否
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要 / 在宅看護学は基礎・各領域看護学の学習を基礎とし、多様な療養環境における看護を探究する統合科目である。本科目では、訪問看護ステーションにおいて在宅療養事例1例を受け持ち、対象を国際生活機能分類(ICF)の視点から多角的にアセスメントし、計画立案と看護の一部展開を目指す。また受け持ち事例以外にも複数の事例を訪問する、通所介護等の在宅ケア事業所の見学、サービス担当者会議等への参加、を通じて在宅療養を支える制度やシステムを理解し、その中での看護の機能・役割について考察を深めることを目指す。課題に対するフィードバック/事前課題及び実習記録を確認し、コメントを返却する。適宜、個別面談を行う。学内最終カンファレンスを通して、総括的コメントを返す。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「人間の健康を環境との関係においてとらえ、地域社会の生活者の視点から看護を実践できる」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①在宅療養者と家族を国際生活機能分類(ICF)の視点からとらえ、アセスメントできる。 ②在宅療養者と家族の意向をふまえて目標を設定し、看護計画を立案できる。 ③在宅療養者と家族、療養環境の特性を考慮して看護の一部を実践できる。 ④地域で生活する療養者と家族を支える保健医療福祉制度やサービスについて説明できる。</p>							
時間外学習に必要な内容・時間	<p>※詳細については、実習要項を参照してください。</p>							
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・実習期間は、令和6年9月9日～令和7年2月28日のうち10日間 ・実習時間は、原則として、8:30～16:30 <p>※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照。</p>							春名 多次 北井
評価方法 評価基準	<p>※詳細については、実習要項を参照してください。</p>							
学生への助言等	<p>本実習は、在宅療養される方の生活の場に訪問する実習です。他者の生活の場に入らせていただくのに相応しい身だしなみや言葉使いなど、良識ある言動ができるようになってほしいと思います。基礎、各専門領域で学修した知識・技術を活かし、つなげることを意識して積極的に学んで下さい。</p>							